

【中学校国語】

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- ◇「話すこと・聞くこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」
 - ・ 全国平均に比べ、上回っている。
- ◇「読むこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「言語事項」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- ◆「話すこと・聞くこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ▼「書くこと」
 - ・ 全国平均に比べ、下回っている。
- ◆「読むこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ▼「言語事項」
 - ・ 全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。
- 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。
- 行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。
- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。
- 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと。

改善の方向

- 文章と図表などと関連させながら書き手の伝えたい内容をよりの確に捉える指導の充実。
- 文の成分の順序や主語と述語との照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるように吟味する指導の充実。
- 行書の特徴を理解しながら書く指導の充実。
- 文章の構成や展開を適切に把握し、それぞれの図表などを用いた意図や読み手に与える効果について考える指導の充実。
- 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、文章の構成や展開を捉えて内容を理解する指導の充実。
- 場面の内容や場面相互の関係を捉え、話の展開を踏まえる指導の充実。

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ▼「数と式」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 ◇「図形」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ◆「関数」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◇「資料の活用」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ▼「数と式」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 ▼「図形」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 ▼「関数」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 ◇「資料の活用」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●指数を含む正の数と負の数を計算すること。 ●数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すこと。 ●具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形すること。 ●具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応の様子を調べ、どのような関係にあるか判断すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○誤りのある計算例を取り上げるなどし、指数を含む計算の順序の理解を深める指導の工夫。 ○数量を数や文字を用いた式で表したり式の意味を読み取ったりする活動を充実するとともに、文脈に沿って「以下」「未満」などの大小関係を的確に捉え表現する活動の充実。 ○2つ以上の文字を含む等式を、目的に応じてある文字について解くことを、複数の場合で行ったり、変形することの意味やよさを感じ得られるような活動の充実。 ○2つの数量の変化や対応から y が x の関数であるかどうか判断する場面をしばしば設定したり、比例や反比例、一次関数などについて式から判断するだけでなく変化の様子などからも判断する活動の充実。

中学校 数学

【中学校理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>▼「物理的領域」の平均正答率 ・全国平均に比べ、計算によって求める問題が大きく下回っている。</p> <p>▼「化学的領域」の平均正答率 ・全国平均に比べ、計算によって求める問題が大きく下回っている。</p> <p>▼「生物領域」の平均正答率 ・全国平均に比べ大きく下回っている。</p> <p>◇「地学領域」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>□「物理的領域」の平均正答率 ・全国平均に比べ、大きく上回っている。</p> <p>◆「化学的領域」の平均正答率 ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、化学式で表す問題に限っては、大きく下回っている。</p> <p>□「生物領域」の平均正答率 ・知識や実験技能を問う問題は全国平均を上回っている。</p> <p>◇「地学領域」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<p>●公式に基づき、正確に計算すること。</p> <p>●自然事象に対して、論理的に考え説明すること。</p> <p>●実験方法を正しく理解し、操作すること。</p> <p>●基礎的・基本的な知識・技能を活用し、自らの考えを表現すること。</p>	<p>○基本的な四則演算の技能を高める指導も導入し演習する時間を設ける。</p> <p>○日常生活や社会の特定の場面でみられる自然事象の発表や、他者の考え方を検討する学習活動の充実。</p> <p>○課題を把握し、個人実験・グループ実験を行う上で、留意すべき事項の明確化。</p> <p>○既習事項の活用できる日常生活の例示と実践例の紹介の充実。</p>

【生徒質問紙】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

生活習慣に関する項目

- 「毎日同じくらいの時刻に起きている」
・全国平均を上回っている。
- ◆「毎日同じくらいの時刻に寝ている」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

家庭における生活・学習

- 「テレビ、インターネットでニュースをよく見る」
・全国平均を上回っている。
- ▼「家で学校の宿題をしているか」「家で学校の予習・復習をしているか」
・全国平均を下回っている。
- ▼「1, 2年生時の授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいたか」
・全国平均を大きく下回っている。
- ▼「数学の勉強は好きか」「数学の勉強は大切だと思うか」
・全国平均を大きく下回っている。

- 規則正しい生活を身に付けていることに加え、朝食を欠かさず摂ることの習慣化を図る。
- 家庭学習の習慣の定着化を図る。
- 学習の意義、及び知識や技能の習得し社会に貢献する大切さに対する理解を促す。
- 蓄積が必要な教科及び苦手な教科に対する取組への意識化。

- 進路に対する目標を明確に持つことにより、学習習慣の定着を図るとともに、その取り組みを活性化させる生活習慣の安定化のための意識作りを行う。
- 社会集団に参画する一員としての自覚を促し、学習意欲の向上を目指す。
- 校内独自の学習アンケート（7月）では、65%の生徒が数学の学習に力を入れており、克服を図るため努力している傾向がみられる。